



## 自衛隊の働きや役割を 理解していただけるよう 報恩奉仕をもって貢献していく。

千葉県船橋市、海上自衛隊船橋航空基地に司令部を置く第21航空群司令部。  
平成26年に発祥となった鑑形さんは、同年12月より第21航空群司令部を務める。  
母校での思い出と共に、自衛官、また校友としてのお気持ちもうかがった。

### 臨床に興味が法学部へ 就職活動では銀行から内定

高校生時代、防衛大学校は知っていませんが、当時「国防のために自衛官になろう」とは考えませんでした。将来は貴族官、もしくは検事官になりたいと思って、大学の法学部を受験し専修生法学部へ進学しました。

大学生時代はどこでもいる普通の学生でした。ただ実家のある千葉県千葉市から自宅まで通うのが遠くてですね、時には新宿で地下中乗をすることもしばしばありました(笑)。そのためサルスや部活はせず、時にサルスバイトをするなどして、自由に過ごしていました。

就職活動では父が引継ぎ企業に助けていたこともあり、主に企業側型を受け、銀行から内定もいただきました。それがなぜ自衛隊に決まったのかというと、校友が陸上自衛官であり職業として面白

身重であったことがひとつ、もうひとつ、学生時代に司馬遼太郎さんの「坂の上の雲」などを読み、回を守るとは誰かがやらなければいけない、それなら自分かやろうと考えました。また、普通な社会に生まれながらですが、武闘に合格して一般幹部候補生として自衛隊に入隊すると、1年間の候補生教育を修業後に3等海尉となります。短期間で幹部になれるということにも魅力を感じました。

### 訓練は一般大、防衛大は区別なし 秒読みの日進出で同期の絆を深める

一般大卒業生は防衛大で卒業生と共に一般幹部候補生課程へ進みます。広島県広島市にある海上自衛隊幹部候補生学校です。通称「江田島」と呼ばれます。そこでは一般大卒業、防衛大卒業の区別なく、基本的に同じ生活を過ごします。

### 鑑形 義志さん

所属部隊  
海上自衛隊 第21航空群司令部

出身が広島、まよひの頃「海軍」に関心したことが、卒業生千葉市出身、1943〜1946年に在。海上自衛隊幹部候補生学校、防衛大、海上自衛隊「第10航空群司令部」を経て、1997年より船橋のヘリコプター訓練センターで訓練士として勤務。その後、防大卒業後進出となり74年度卒業生となる。1999年に防衛省幹部候補生として防衛大に進学。2002年に防衛大を卒業し、同年、一等海尉。その後、豊後県豊後市立総合体育館、豊後県豊後市立総合体育館、2014年、船橋市、豊後県豊後市勤務。



劇から始まって秒読みは生まれ初めての日進出です。起床ラッパ後の点呼、身支度、集合が始まり、食事、訓練、学習と全てが決められています。防衛大出身学生は1年間訓練していますが、こちらは初めてですら苦労しました。

また大学時代、私は体育会に入っていませんでしたから、体力面で苦労はなかったです。一般大出身で体力のない方は「体力養成クラブ」に集められ、剣道、懸空、マラソンと集中的に訓練を受けました。

意外かもしれませんが、海上自衛隊では一般大出身、防衛大出身の区別はありません。候補生学校の出発期が



大切であり、「〇〇候補」というのが同僚の呼びかけとなります。私は83年入隊の「83洋航隊」でです。江田島で1年間、その後海軍飛行隊実習を含めた計約2年間の養成を遂げ、若しき若しき乗り組んでいくのですが、前が深まった部分はあるとも思います。

### 「情報即応」を指導方針とし 日々の任務にあたる

海上自衛隊に入隊後、ヘリコプター操縦士として任務に就きました。その後、多様な勤務経験を経て第21航空群司令部に着任しました。着任後、指導官は指導方針を含めた私に2つを授けました。ひとつは「情報即応」、訓練部隊を育成し、平時有事を問わず任務に即応すること。ふたつは「無常即応」、無常即応に即応すること。ふたつは「無常即応」、無常即応に即応すること。

また大学時代、私は体育会に入っていないので、体力面で苦労はなかったです。一般大出身で体力のない方は「体力養成クラブ」に集められ、剣道、懸空、マラソンと集中的に訓練を受けました。

意外かもしれませんが、海上自衛隊では一般大出身、防衛大出身の区別はありません。候補生学校の出発期が大切であり、「〇〇候補」というのが同僚の呼びかけとなります。私は83年入隊の「83洋航隊」でです。江田島で1年間、その後海軍飛行隊実習を含めた計約2年間の養成を遂げ、若しき若しき乗り組んでいくのですが、前が深まった部分はあるとも思います。

### 日々発生する災害派遣 建学の精神でもある「報恩奉仕」で これからも貢献していく

海上自衛隊のヘリコプターは毎日どこかで飛行しています。今は平時ですが、いつ災害派遣等の実務があるかわかりません。任務遂行のために必要な訓練は必須です。私の経験上時代、月のない夜に飛行訓練で船山から上がり、真冬の寒さを感じると、ふと「なんでこんなことをしているのかな?」と考える瞬間がありました。実はその訓練こそが災害派遣などで国民の役に立つための大切な訓練なのだと思います。無事に救助できて「ありがとう」と言われること、また自分行かなくても自衛隊の働きが感謝をもって褒賞等されることは嬉しいものであり、われわれ自衛官のやりがいを感じるときです。

実は災害派遣は日常的に行っています。そのひとつに救助派遣があります。例えば伊豆七島に発生した震災、東京消防庁が被災が甚くて来ない場合、災害派遣の依頼が来ます。震災後、夜中を回す活動もします。今年正月には豪雪が降ったのもあって急遽2名が発生し、救助員から出動しました。その現場を見ていた乗組員の方が写真と共にその働きを取材陣に投稿された。報じられることになりました。われわれの働きを理解してもらえているというの、やはり嬉しいことです。

いま、一般大でいりません就職をした後、自衛隊の一般幹部候補生の試験

に臨む学生が思っています。防衛は防衛でいい、海軍で多技能あると思います。これも自衛隊の活動を見て、理解を深めてあげていることの証だと思います。これからも大卒の建学の精神でもある報恩奉仕、賞賛報恩、誠実力を持って社会に貢献していきたいと思っています。(記)



海上自衛隊ヘリコプターパイロット  
卒業生によるイベント  
陸海空のヘリコプターが展示されるほか、体験乗機、航空ショーなども実施される。本年は例年より予定。

### 見学

【見学受付時間】  
午前9時〜午後12時 午後1時〜午後4時  
【見学に必要書類】  
上記期間内で1時間〜1時間程度  
申請書とのお問い合わせは平日の午前8時30分〜午後4時の間に、また、見学希望日の2週間前までに予約を。  
【お問い合わせ】  
TEL 0470-8001  
千葉県船橋市宮城野地区 船橋航空基地  
第21航空群 司令部 広報室  
TEL 0470-223391 内線200  
メールアドレス:  
21aw-cha.foud@net.mod.jp